

『さっきゃま魂』

R5. 3.6 第17号

発行人：校長 中山 未永

頑張りきる！ ～今年度最後の「持久走記録会」～

2月28日（火）今年度最後の「持久走記録会」を実施しました。1年間の集大成となるので、いつも以上に気合いが入っているように感じました。一斉にスタートし、いよいよ自分自身との戦いの始まりです。「最後の走り」に期待しながら、子ども一人ひとりの走る姿をじっくり見ていました。スタートの合図と同時に勢いよく走り出す子ども、苦しそうな表情の中にもしっかりと前を向いて走り続ける子ども。「はぁ～ はぁ～」という息づかいの中に、子ども達の「強い心」を感じ、大きくうなずきながら、その頑張りを応援していました。

子ども達の気持ちは、最高の結果にもつながりました。新記録を出した子ども、前月の記録を上回った子どもが、たくさんいました。もちろん、結果につながらなかった子どももいましたが、それぞれが粘り強い走りを見せ、満足のいく1年の締めくくりになりました。

ただ一つ残念なことは、授業参観の日に実施できず、子ども達の必死に頑張る姿を保護者の皆様に見ていただけなかったことです。実は、前川清さんも「記録会が楽しみ」といったたそうですが、さすがに雨にはかえませんでした。



この「持久走記録会」は、来年度も継続していきます。必ず、保護者の皆様にも見ていただく機会をつくれますので、その日を楽しみにしてほしいと思います。

6年生のおかげで・・・ ～心温まる「6年生を送る会」～



3月2日（木）「6年生を送る会」が行われました。体育館に入ると、華やかなステージ飾りが目に飛び込んできました。体育館は、6年生を迎えるためにしっかり準備され、1～5年生の意気込みを感じることができました。

花のアーチをくぐってきた6年生を迎え、いよいよ「6年生を送る会」の始まりです。各学年の出し物は、3・4年生が「6年生を紹介するクイズ」、1・2年生が「6年生と一緒にダンス」、5年生が「学校などに関するクイズ」でした。どの学年の出し物にもたくさんの笑いがあり、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。子ども達の出し物を見ながら、私も大笑いしていましたが、それと同時に鳥肌も立っていました。鳥肌の原因は、子ども達の心が伝わってきたことによる大きな感動でした。

「卒業、おめでとうございます」というお祝いの気持ち

「今まで、頑張ってくれてありがとう」という感謝の気持ち

「中学校に行っても頑張って」という応援の気持ち 等

いろいろな思いを感じることができた、心温まる感動的な「6年生を送る会」でした。

「とっても良い集会だったね。」

「6年生が良いから・・・」

放課後の職員室でそんな話をしながら、「17日の卒業式も、きっと素晴らしいものになる。」と確信しました。